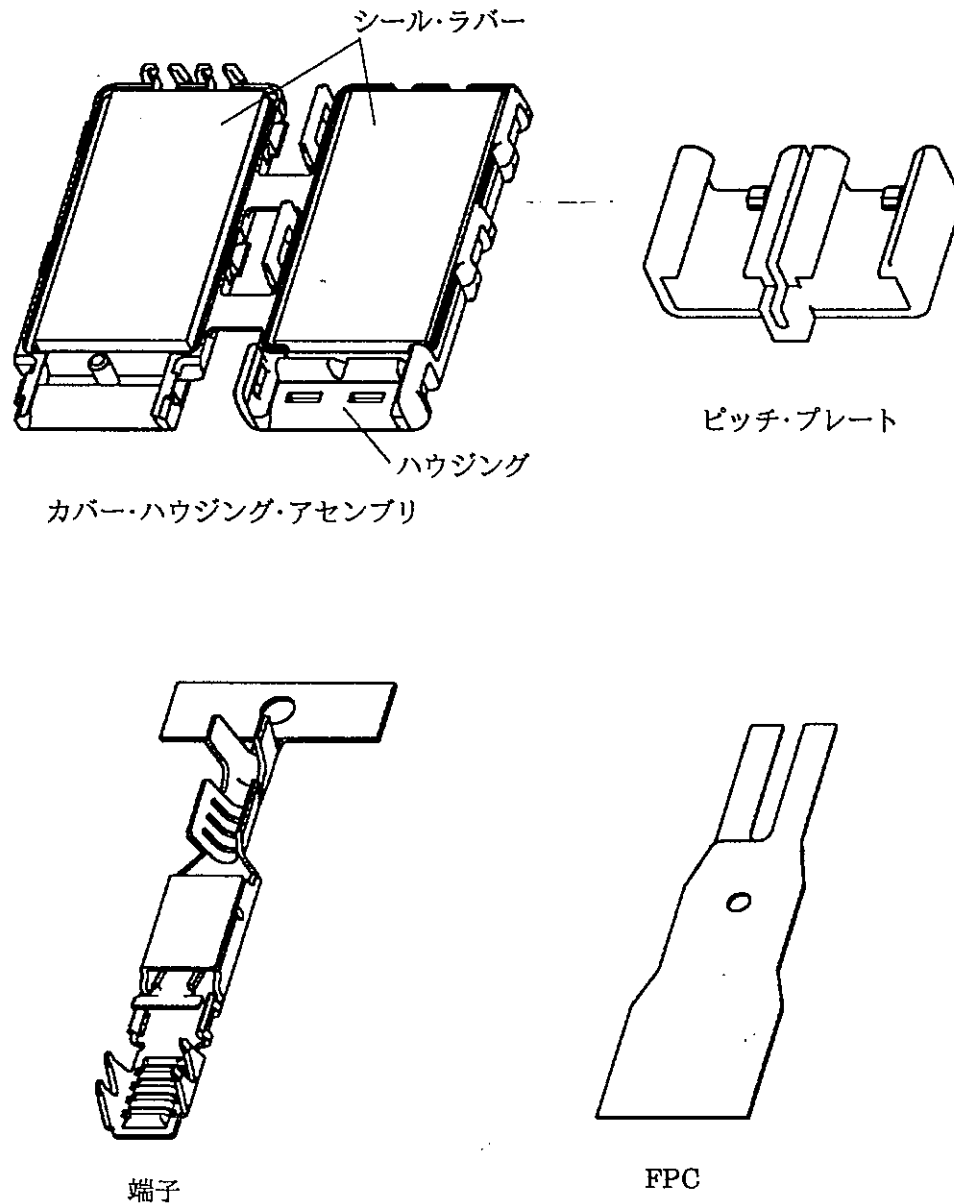


1. 製品型番 及び 部品各部名称

1-1 製品型番

名称	AMP型番
端子	353842
カバー・ハウジング・アセンブリ	353838
ピッチ・プレート	353840
FPC	—

1-2 製品各部名称



2. 端子及びハウジングの検査

2-1 顧客の受入検査

〈端子〉

項目	検査規定及び方法	測定具
外観検査	1) 形状	目視
	2) めっき仕上げ度	
	3) 巻き方の状況	

〈ハウジングアッセンブリ〉

項目	検査規定及び方法	測定具
外観検査	1) ハウジングのバリ、変色、変形	目視
	2) ひび、われ、かけ	
	3) シールラバーの異物付着	

〈ピッチプレート〉

項目	検査規定及び方法	測定具
外観検査	1) ハウジングのバリ、変色、変形	目視
	2) ひび、われ、かけ	

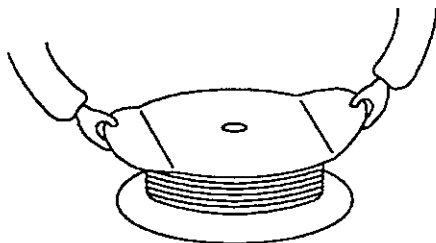
3. 圧着作業について

端子の圧着は、必ずAMP指定の工具により、更に指示された規定に従って施行しなくてはならない。

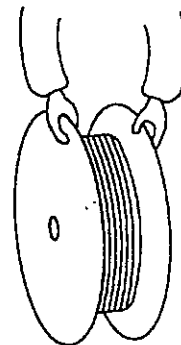
3-1 保管及び運搬管理について

- (1) 梱包箱より取り出したままの裸状態で放置、運搬は、さけること。
- (2) リールのフランジの片面のみ持って運ぶことは、リールが、破損し、圧着機にかからず、使用できなくなります。

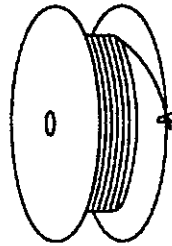
横にして片側のみでもたない



良い方法



- (3) 湿気の多い所には、放置しないこと。即ち、比較的乾燥した直射日光に当たらない清浄な屋内で、かつ常温常湿の環境下の保管が望まれます。(常温常湿とは、5～35℃、かつ45～85%をいいます。)
- (4) 使用を中断して、一時圧着機より取り外されたリールは、その先端の端子を適宜な紐によってフランジに結んでおいて、リールがほどけないようにすること。



結んでおいてはなれないようにしておく。

3-2 圧着作業管理について

作業管理は、別冊

使用端子

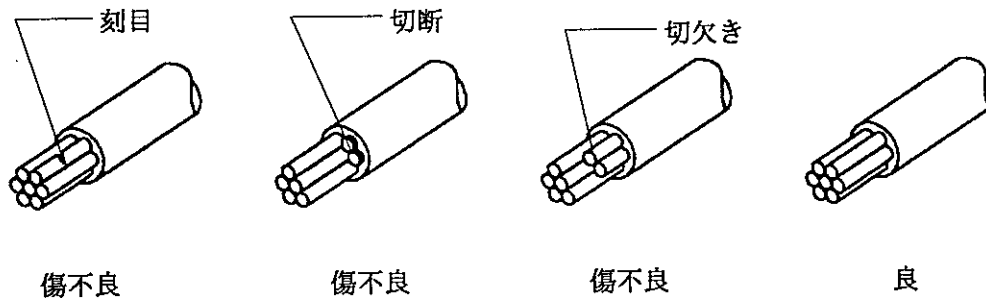
FPC CONTACT

取付適用規格

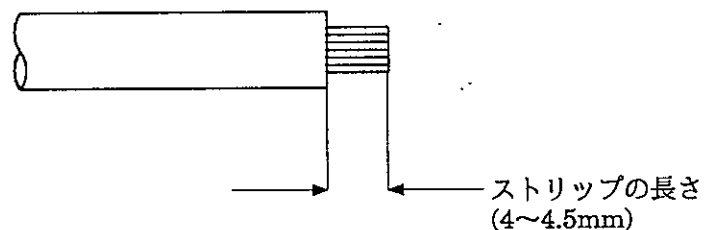
114-5241

によって作業指導要領を準備されることが要求されます。なお、特に次の事項が重要です。

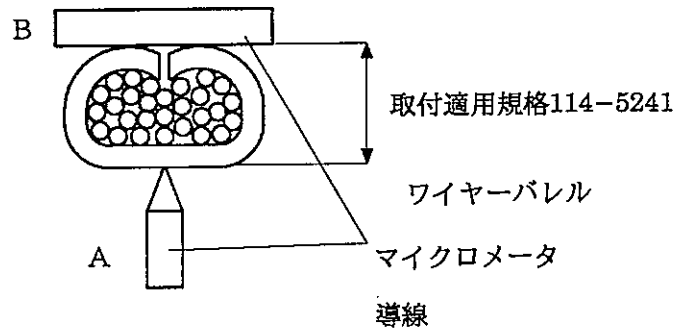
- (1) 電線に傷がついたり、切断されてはいけない。



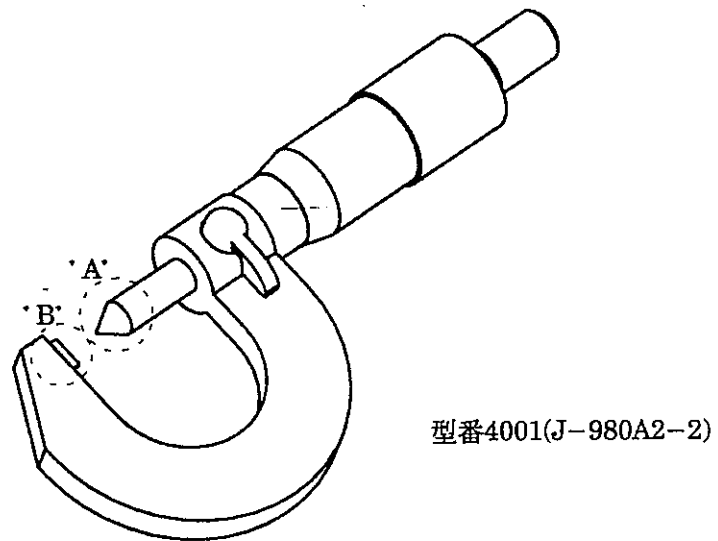
- (2) 加工における端末処理の仕方



(3) 圧着断面図



(4) マイクロメータ (クリンプハイト測定用)



3-2-1 圧着時の端子形状

(詳細は、114-5241 を参照の事)

3-2-2 電線圧着データ

(端子を圧着するためのアプリケータ番号、寸法は下記の通りです。必ず作業前に確認して下さい。)

コンタクト型番	アプリケータ 型番	電線サイズ (mm ²)	AVSS	
			高さ(mm)	ディスク
353842	937257-2	0.3	0.94	C
		0.5	1.03	B

注：使用電線；自動車用低圧電線、AVSS

3-3 圧着済半製品の管理について

3-3-1 検査について

圧着加工品の検査は、製品1ヶ所を検査単位体として同一条件下で、即ち圧着機の調整間で連続生産された群、域は1作業日で生産された群をもって1ロットとして、下表により行なうのが適当です。

区分	時期	検査項目
初物検査	アプリケーションをセットアップをした時	外観検査及び寸法検査（下記全項目）
ロット検査	毎日の作業開始時	同上
	連続生産を行っている間のもの	外観検査（下記全項目）及び寸法検査（3項）

項目	検査規格及び方法	測定具
外観検査	1.芯線圧着もれ、及び芯線きれ	目視
	2.圧着部形状不良（ベルマウスの形成、芯線の突出し）	目視
	3.圧着部底面不良（バリ発生）	目視
	4.被覆抑えはずれ	目視
	5.接触部の形状不良	目視
寸法検査	1.カット・オフ・タブの寸法：0.5mm以下	キャリパー
	2.端子の変形（バンド、横まがり、ねじれ）	拡大鏡
	3.圧着高さ	マイクロ
	4.芯線圧着部の前・後ベルマウス： 前側：0.2mm以下、後側：0.5mm以下	キャリパー

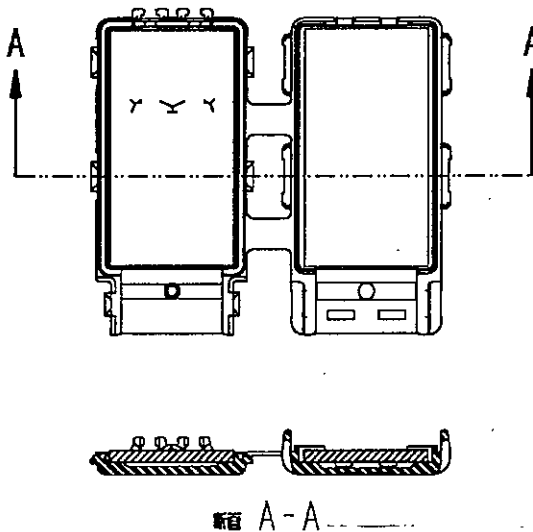
3-3-2 保管について

- (1) 乾燥した清浄な場所に保管しなければならない。また、翌日にわたって保管される場合は、露出状態で放置することは禁止されるべきです。
- (2) 一束として束ねる時は、50本を限度とする。
- (3) 多量のを単に積み重ねると突起部が引懸ったりして、また重量の為に端子が変形する原因となり、接触不良その他の事故の原因となります。
- (4) 束を分離するとき、端子同士がからむ場合があるため、注意して作業を行って下さい。
- (5) 圧着前端子を保管する場合、湿気の多い場所には放置しないで下さい。即ち、比較的乾燥した直射日光の当たらない場所で、清潔屋内で且つ常温常湿の環境下の保管が望まれます。（常温常湿とは、5～35℃、45～85%をいいます。）
- (6) 圧着後端子を束ねて保管、運搬する場合、端子の絡み、変形等に注意願います。

4. カバー・ハウジング・アセンブリの管理

4-1 顧客受入について

- (1) シールラバーはハウジング凹部内にあること。



- (2) ハウジングに異物、油脂等の付着がないこと。

- (3) シールラバーに異物の付着なきこと

4-2 保管について

- (1) 保管期限は、納品後3カ月以内とします。

- (2) カバー・ハウジング・アセンブリを保管する場合、湿気の多い場所には放置しないで下さい。

即ち、比較的乾燥した直射日光の当たらない場所で、清潔屋内で且つ常温常湿の環境下の粉塵の付着しない状態での保管が望まれます。(常温常湿とは、5~35℃、45~85%をいいます。)

5. 組立作業について

5-1 ピッチプレートの端子装着作業

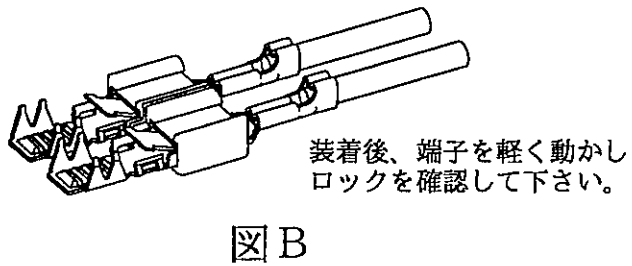
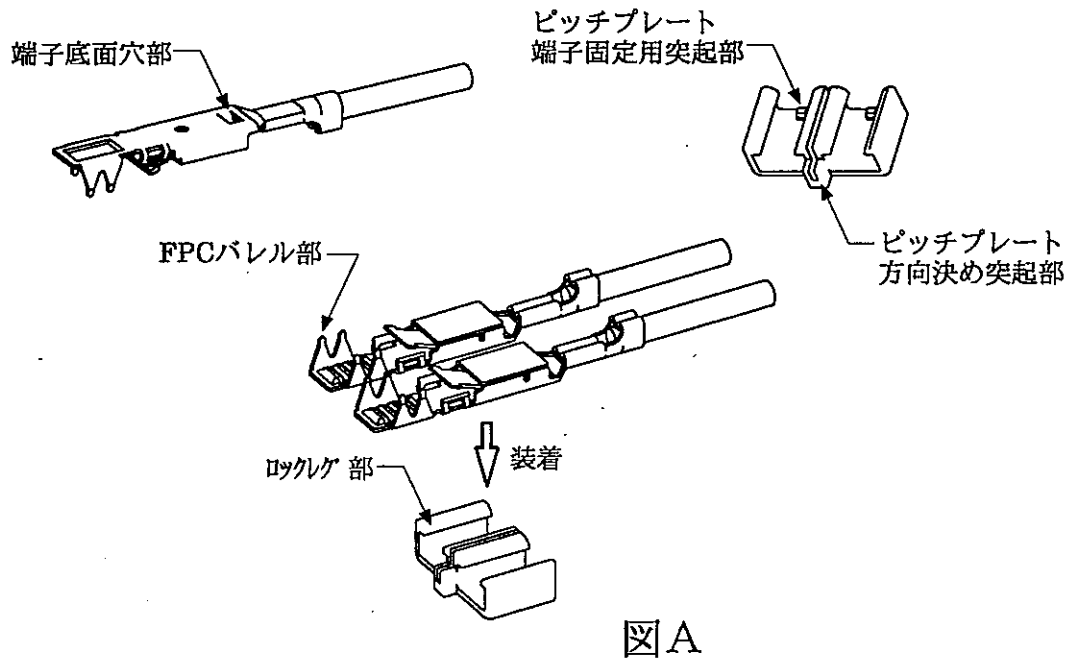
- ① ピッチプレートのロックレグ側、端子のバレル側を共に上に向け、ピッチプレートの方向決め突起部とFPCバレル側が同方向になっていることを確認後、ピッチプレートの端子固定用突起が端子ボックス部底面の四角い穴に入るように上から押し込んで下さい。(図A参照)

- ② 端子底面の穴にピッチプレートの突起が入って入ること、ロックレグが端子のボックス部に掛かっていることを確認して下さい。また、装着後、端子を軽く動かしロックを確認して下さい。(図B参照)

※ 端子、ピッチプレートの変形に御注意下さい。

(変形したものは、使用しないで下さい。)

一度装着したピッチプレートおよび端子は、再使用しないで下さい。



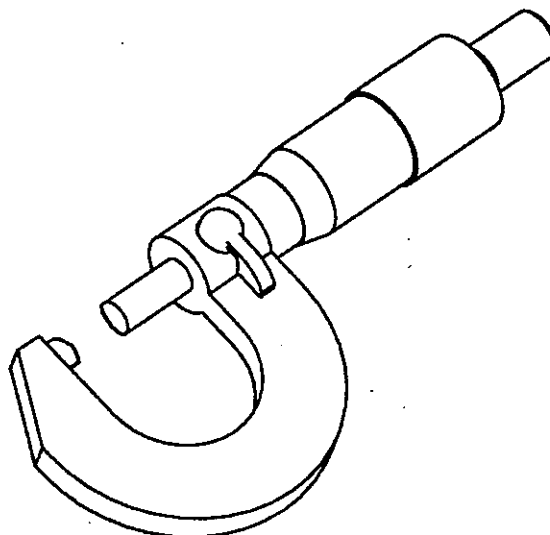
5-2-1 FPC圧着作業方法

取付適用規格 114-5241 を参照して下さい。

FPC圧着工具の取扱説明書 (412-5687) を参照して下さい。

5-2-2 FPC圧着データ (作業前に N=10 を必ず確認して下さい。)

(1) マイクロメーター (FPCクリンプハイト測定用)

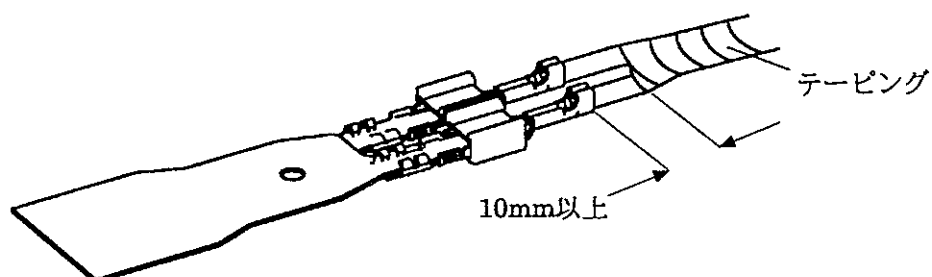


(2) FPC圧着データ

コネクタ外型番	FPC圧着工具型番	FPC導電部厚み(μm)	圧着高さ(mm)
353842	409764-□	95	1.08
		118	1.13

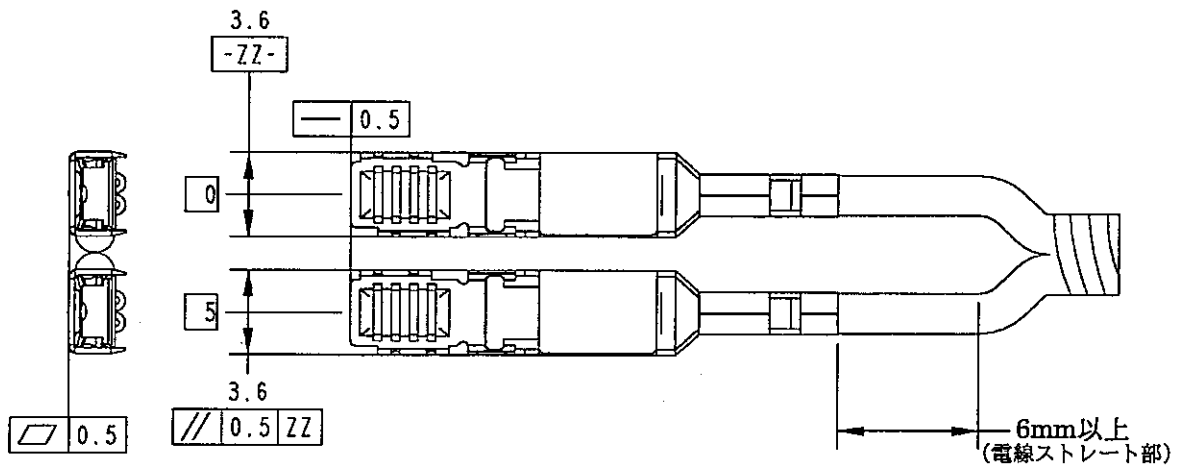
5-2-3 FPC圧着後のテーピングについて

FPC圧着後、ハーネスにテープを巻く場合は、端子の端面から電線のストレート部を10mm以上確保して巻いて下さい。



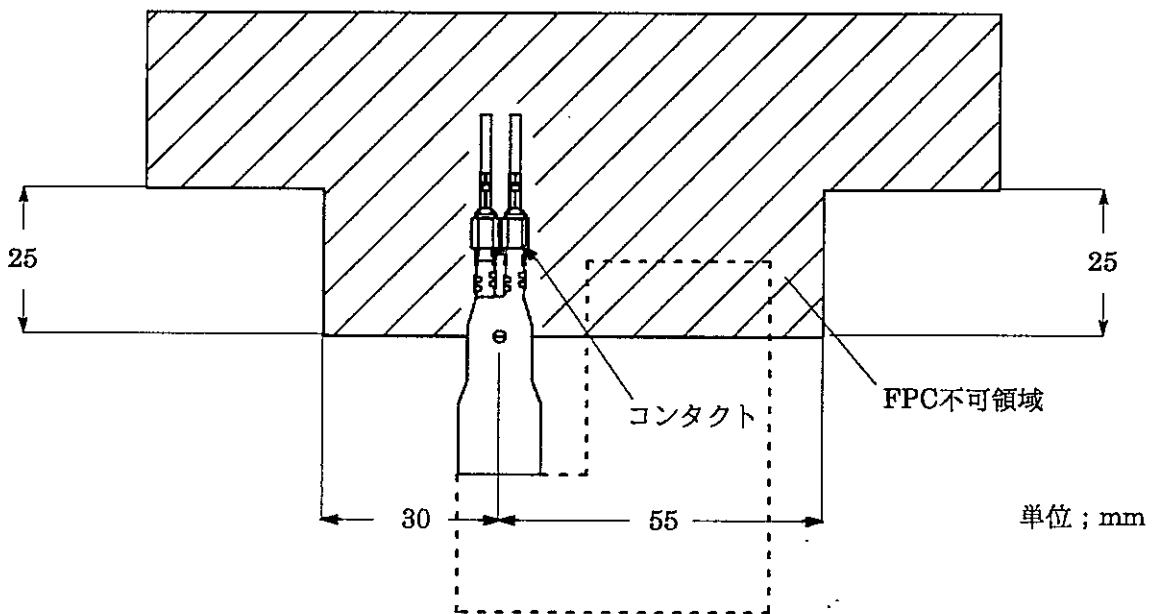
※FPCに15N以上の力が掛からない様に作業して下さい。

前ページの寸法で出来ない場合は、下図の寸法を厳守の上作業を行なって下さい。



5-2-4 FPCの形状範囲

FPC圧着工具にセットした時、圧着工具の下図斜線領域に入る様な形状のFPC (例えば下図点線の様な形状をしたFPC) は使用しないで下さい。万一、入ってしまうFPCを使用される場合は、AMPまで御確認下さい。



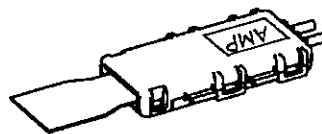
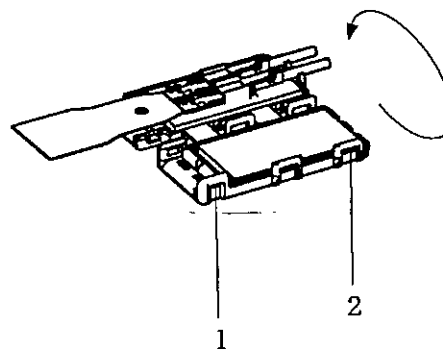
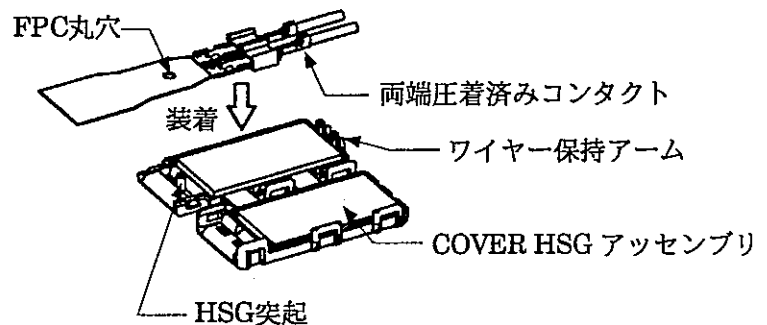
5-3 ハウジングへの取付け方

シールラバー（ジェル）上に異物がないことを確認し、

① FPCセンサの丸穴がHSGの円柱突起に入る様に、そしてワイヤーは保持アームに入る様に上から押し込み、両端圧着済みコンタクトをCOVER HSGアッセンブリに装着します。ジェルに対しピッチプレート上を指で3秒前後押し付けます。

② ①の装着状態を確認し、位置がずれないようにFPCもしくは電線を保持し、HSGのフタを治具にて閉めて下さい。治具はロックの真上を押す様にHSG端面から約2mmの範囲に設定して下さい。（HSGの中心付近を押すとジェルがはみ出す可能性があります。）このとき、右図中1と2のロックを最初に仮止めしておくことでロック作業が容易になります。

③ バランスよく（均等に）6ヶ所のHSGロックが完全に引っ掛かったことを確認して下さい。
（図C）



図C

※ハウジングロック時、変形に注意して下さい。又、毛髪等目に見える付着物がシールラバーのウレタン面に付いている時は、必ず取り除いてからロックをするようにして下さい。シールラバーに触れた手指でハウジングに触らないよう注意して下さい。シリコンの付着する恐れがあります。端子の位置ずれ、必要以上の圧力を加えた場合、シールラバーがはみ出す可能性がありますので注意して下さい。

一度装着したものや、変形したものは、絶対に再使用しないで下さい。

5-4 ハーネス製品の管理について

5-4-1 検査について

ハーネス完成品を検査単位体として全数検査が要求されている為、下記事項を厳守しなくてはならない。

5-4-2 保管について

乾燥した清浄な場所に保管しなくてはならない。又翌日にわたって保管される場合は露出状態で放置することは禁止されるべきです。

5-4-3 出荷・運搬について

- (1) 適性の梱包箱を利用して塵埃、雨水等を防止し、丁寧に取扱うよう注意が必要である。
- (2) 規定の表示を明記しなくてはならない。

6. 車両への装着作業について

6-1 受入検査について

次の事項が少なくとも必要とされる点である。

- (1)ハウジングより出ている各電線の束ね位置（電線を折り曲げない場合20mm以上、折り曲げた場合10mm以上）。
- (2)ハウジングロックのかん合状態。
- (3)ハウジングのわれ、欠陥、変色等。
- (4)欠陥部品の確認。

6-2 装着作業管理点

ハーネスの取扱いは充分注意して行ない、次のような取扱方法は許されない。

- (1) ほうり出すような乱暴なハンドリング
- (2) 床に触れるようなハンドリング
- (3) コネクタを持って運ぶ
- (4) 電線を引懸って無理な力がコネクタにかかるハンドリング